

女子 明石西 男子 尼崎北 頂点

県高校総体

(神戸新聞社後援)

19日は水球が尼崎北高であり、出場2校の女子は明石西が決勝で尼崎北に14-8の快勝を収め、2年連続4度目の優勝を飾った。5校によるリ

グ戦形式の男子は尼崎北が4戦全勝で9大会連続(2020年は中止)35度目の頂点に立った。

歴史をつなげた

水球男子優勝ニ崎北・山本柊葉主将(9大会連続優勝に)「先輩方の歴史をつなげた。尼北は

冬に1日4〜5キロを泳ぐ。(屋外で)きついより寒いけど、それで強くなる。しっかり泳いでカウンターを出す自分たちの普通を出せて実感した」

水球女子決勝・尼崎北ー明石西 シュート体勢に入る明石西の池辺主将ニ崎北高

水 泳

◆…水球…◆

(第1・最終日、尼崎北高)

【男子】リーグ戦 尼崎北20ー5明石西、滝川8ー5姫路東、明石西38ー2姫路工、尼崎北17ー8姫路東、滝川38ー2姫路工、姫路東13ー8明石西、尼崎北25ー3姫路工、滝川10ー8明石西、姫路東31ー0姫路工、尼崎北7ー3滝川

▽最終順位 ①尼崎北4勝②滝川3勝1敗③姫路東2勝2敗④明石西1勝3敗⑤姫路工4敗

【女子】決勝

明石西 14
5 4 4 1 1 2
1 1 4 8 尼崎北

2年生中心、攻めて連覇 女子・明石西



水球女子は全選手が2年生以下の明石西が尼崎北との一騎打ちを制した。唯一の経験者の岸川を中心に進め勝った。「あれは好きな打ち

方」。主導権を引き寄せたのもエースだった。7ー17の第3ピリオド終盤から第4ピリオドにかけて3連続得点。いずれも単独でボール運び、男

子の正GKを相手に練習してきたシュート精度の高さを見せつけた。

岸川の入部当初、泳がない同級生もいたという。「終わった…」と落胆したというが、実戦練習を通じて個々が泳力を強化し、バスケットボール経験者の前田らが主軸に成長した。小学生まで水泳をしていた池辺主将は2021年度のU-17(17歳以下)兵庫県選抜に選ばれるまでになり、岸川と得点源を形成する。昨年は尼崎北の8大会連続優勝を阻止。2年連続の栄冠に、選手たちは「めっちゃうれしい」と声をそろえた。シンプルな言葉に実感がこもった。(有島弘記)